

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	発達支援センターあさくち（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和 7年 11月 1日	～	令和 7年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和 7年 11月 1日	～	令和 7年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の送迎のため、送迎時に保護者の困り感を聞いたり、療育の様子や説明など伝えやすい。	送迎時に、保護者の困り感や相談事等合った場合には、タイムリーに話を聞くことができるように、懇談を実施したり、懇談	発信の少ない保護者にも、積極的に話を聞けるように定期的に懇談の予定を組んで実施することができるようにする。
2	公共のマナーが学べるように、社会体験を実施している。	長期休みに、電車の乗車、カフェでの飲食等を取り入れて、公共のマナーを体験できるようにしている。子ども達の希望も聞きながら、興味が持てるようにしている。	子どもだけの経験の場になっているが、親子での経験が出来るように計画していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	座談会を実施し、普段の子どもの様子や、保護者同士の連携や情報交換を作る場が実施出来ていない。	座談会や参観日をする計画を検討していたが、部屋の狭さ等から実施することが出来なかった。座談会をする場所の確保等も必要であった。	座談会で、保護者同士の交流の場になればとの思いもあったが、座談会を開催する機会が少なくなりやすいので、送迎時に待合いの時間に保護者同士が話ができる場を作り、気軽の交流できるようにしていく。
2	建物老朽化、耐震の弱さ。	庭が広く近くに散歩コースや広場等あり環境的には良いが、古民家であるため老朽化や耐震の弱さがある。	事業所の場所を移転する等も検討していたが、人員不足もあり、事業所の継続が難しく閉所することとした。
3			